

夏季目標5000万円を実現しよう

日刊 動労千葉

1988.4.22

No. 2802

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二（二二）七二〇七

物販始まる (4/19)

四月一九日、動力車会館において、夏季物品販売オルグ団結団式が全支部からの代表者を結集し開催された。

あいさつにたった中野委員長から、「『分割・民営化』から二年目に入り、いよいよ反撃の時期が来た。四・二九臨大を期してたたかいに突入する。これと結合し、夏季販売を成功させよう。物品販売は、専従者だけのたたかいではない。今後、全組合員がオルグ団となり全国に訴え、物販運動を担って欲しい。動労千葉に支援をおしめ全国の労働者は、年休をとり、弾圧をはねのけ共に決起している。その人達にも応えなくてはならない。

すでに動労千葉から百名が営業に配転された。しかし、これはわれわれの戦線の拡大に他ならない。あらゆる職場でたたかいを巻き起こそう！ストに決起しよう。今こそ動労千葉根性で全国を駆けめぐろう！」と力強く激が発せられた。

続いて、基調報告にたった白井協販部長から、「動労千葉は運輸の現場、営業、清算事業団、そして三十名の争議団とあらゆる戦線でたたかっている。物品販売の成功は団結を守り、たたかいを勝利させる糧だ。

今や革マル・鉄道労連は全労働者の敵となった。鉄道労連を解体しよう。」と、方針を鮮明に打ち出した。

次に具体的な取り組みなど活発な意見がかわされ、全参加者は固い決意を打ち固め、出陣式は大成功のうちに終了した。

4・29

臨時大会に総結集を とき 四月二十九日 十時より ところ 労働者福祉センター



(全国に！物販にうって出よう！出陣式)

紳士・婦人服 春夏物特別セル

4月29・30日 10時～17時
労働者福祉センター大ホール